年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校　令和8年度（4学年）

教科　国語　　科目　文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A　組～　B　組

教科担当者：　（A組：本領　弘之　）　（B組：本領　弘之　）

使用教科書：　（　大修館書店　「新編文学国語」　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるととともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるととともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・場面や情景の中での登場人物の心の動きを読み取る。小説の構成上の工夫に気づき、小説の魅力を理解する。人情の機微に触れた小説を読み、人と人のつながりを考える。　・場面に応じた敬語を使い分ける。	・「待合室」 ・敬語の使い方	○	○	○	（知識・技能）・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。　（思考・判断・表現）・「よむこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色についえ評価することを通して、内容を解釈している。　（主体的に学習に取り組む態度）・作品に興味を持ち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み取ろうとしている。 （敬語の種類を理解し、場面に応じた敬語を使い分ける。）	○	○	○	24
	定期考査						○	○		1
2学期	・場面の推移や登場人物の心情の移り変わりに注意しながら近代文学の名作を読み深め、自分なりの観点から作品の意義を考える。夏目漱石の作品や、ほかの近代文学に興味を持ち、読書生活を豊かにする。	・「こころ」	○	○	○	（知識・技能）・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。　（思考・判断・表現　・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。　（主体的に学習に取り組む態度）　・作品に興味を持ち、登場人物の生き方から自分自身の生き方に関する考えを深めようとしている。	○	○	○	26
	定期考査						○	○		2
3学期	・発想を広げ、起承転結のパターンに従ってショートショートを書く。・さまざまな作品を参考にして構成や展開を工夫する。	・物語を紡ぐ 「ショートショートを書こう」	○	○	○	（知識・技能）・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解し使っている。　（思考・判断・表現）・「書くこと」において、文章全体を整えたり、読み手からの助言をを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。　（主体的に学習に取り組む態度）・作品を創作することに興味を持ち、厚生・展開や表現を工夫しながら書くことに取り組もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
										合計 74